

# 人とかかわる力を高め、自己有用感をはぐくむ指導の工夫 —「絆カード」を活用した異年齢の交流活動を通して—

特別活動班 熊丸 朱美（小学校教諭）

## こんなことはありませんか？



もう少し、上級生がリーダーシップを  
発揮して行動できないかしら。

縦割り活動が  
うまくいかないなあ。

相手のことを考えられる  
子に育ててほしいなあ。

上級生になったときに、  
「思いやり」や「リーダーシップ」を発揮できる子どもたちを**中学年**から育てましょう。

上級生の  
よさに気づく

### Step 1



そのために、絆カードを活用し、  
観点にそって

上級生の行動や発言を  
観察・記録・共有

絆カード(1) ～6年生のひみつをさぐろう～

氏名 \_\_\_\_\_

上級生（6年生）は、下級生のために、どんなことをしているのかな？

観察記録のようか？ だて何話の話をしているのかな？ 指導員さんや先生とかな？

質問のときかな？ 質問のときかな？

やさしい行動・言葉 気のいい言葉・言葉

← 観察記録

↓ 共有

上級生の  
よさを生かす

### Step 2



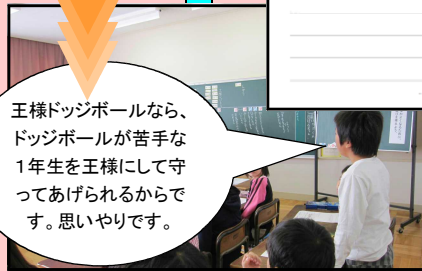
そのために、交流会の前に

上級生の行動や発言を  
指針とした話し合い

めあて

六年生から学んだ「1つのよさ」を、今度は、  
二年生のわたしたちが1年生につたえる。

① 思いやり  
② リーダーシップ



1年生のために  
自分ができることを  
自己決定する。

上学年の立場で

上級生の  
よさを自分のものにする

### Step 3



そのために、1年生や  
友達からの

他者評価を加えた  
振り返り

絆カード(2) ～1年生とちっぴりあそびまわろう～

3か月の思い出をおねえさんへ  
さようならしてさよならのとき、おねえさん  
を思い出させておしゃべりして  
くれてありがとうのしかなかったよ。  
1ねえさん

みんなが、僕  
の頑張りを分  
かってくれた  
からうれしか  
ったよ！！



1年生が楽しかったと  
言ってくれて、とって  
もうれしかったよ！！

自分の活動に  
自信をもつ。

自己有用感が  
はぐくまれる

## 成果

- 6年生から学んだよさを1年生に伝える異年齢の交流活動を取り入れたことで、自分の活動に**自信**をもち、**自己有用感**をはぐくむことができた。
- 交流活動後、積極的に**1年生の役に立とう**と行動できる児童が増えた。

## 課題

- 下学年の児童が信頼や愛着を、上学年の児童が自己有用感をはぐくむことができる**異年齢の交流活動を継続実施**していきたい。